



A C T I V I T Y R E P O R T



Wonder Art
Production

2017

Happy Doll Project ハッピードールプロジェクト

全国と世界をつなぐ『ハッピードールプロジェクト』は12年目を迎えました。

2017年も5病院で7プログラムを開催しました。



2月3日 福島県立須賀川支援学校医大校 院内展覧会 2/3-2/20

親子集会のお招きを受けて、2年ぶり5回目の開催。終了時間が来ても誰一人手を止めることなく、夢中になりました。「たくさん話をしながら作ることができてすごく貴重な時間でした」「子どもたちの笑顔が見れて嬉しかった」と保護者の方から感想をいただきました。



6月21日 ルミエールしかまつ（神戸）院内展覧会 6/21-6/28

重度認知症の方々が暮らす高齢者住宅。2008年に訪れたホスピス「はやしまクリニック」からの長年に亘るリクエストに応えて、9年ぶりに同じ医療法人が運営する施設へ訪問することが出来ました。日常生活の中では見られない入居者の皆さんの変化に、職員さんたちから驚きの声がいっぱい。歩んできた人生を物語るような作品をつくった方もいらっしゃいました。重度の症状と向き合う高齢者の方々が集い、穏やかなひとときを共有したプログラムとなりました。



7月4日
長野県立こども病院（小児病棟）

7月5日
長野県立こども病院
（総合周産期母子医療センター）

院内展覧会 7/4-7/14

2年ぶり2回目の。1日目は小児病棟へ。もうすぐ生まれてくる兄弟へ、おばあちゃんへ、病氣と闘うわが子へ…。それぞれの願いを込めたたくさんのハッピードールの誕生しました。2日目は母子医療センターへ。新しい命の誕生を待つお母さんたちとのプログラムとなりました。



7月25日
東京大学医学部附属病院 院内展覧会 7/25-7/31

今回で5回目となるハッピードール。午前・午後と二つの病棟に分けた開催となりました。数日前から楽しみに待っていてくれた子どもたち。「病院でこんな時間が持てるとは思わなかった」と、ご家族からも感想が寄せられました。それぞれに創意溢れる作品を完成させ、笑顔いっぱい時間となりました。



記録集の制作

参加者全員の作品と活動風景を収録した記録集は10冊目になりました。病院のほか、東北・熊本での活動も紹介。ハッピードールを通じたかけがえのない出会いと、命の輝きを収めました。



8月3日
熊本大学医学部附属病院 院内展覧会 8/3-8/22

1年ぶりの再訪。長期入院の子どもたちも多く、昨年参加してくれた親子との再会もありました。「楽しかった！」「子どもの笑顔が見れて何より嬉しかった…！」今回もたくさんの笑顔が生まれたハッピードールの時間となりました。



協賛：サノフィ株式会社 コスモエネルギーホールディングス株式会社 シチズン時計株式会社



HOSPITAL
ART

長野県立こども病院ホスピタルアート

PICU 新築・増築工事に伴うホスピタルアートを総合プロデュースしました。

第1ステージ

増築棟に新たに建設された8床の病室、スタッフステーション、面談室2部屋、壁紙、ロールスクリーン、家具などのカラーコーディネートから、壁面のアート制作まで、トータルコーディネートを手掛けました。コンセプトは安曇野の自然と色の力。アートの力が安らぎを与え、エネルギーを与えてくれますように！患者さんの引っ越しを控えた限られた期間に病院に滞在し、願いを込めて壁画を制作しました。

[アート制作/3月8日～15日]





before

ICUの鬼澤看護師長と

旧PICU病棟。医療機器が目立ち、無機質で寒々しい印象。看護師長さんから「ICUという環境にあっても一般病棟、もしくは自宅のような家族が安らげて子どもが少しでも恐怖が軽減できるような内装をお願いしたい」とご依頼いただいた。



第2ステージ

新築棟の4床の病室、手術室に向かう廊下、家族用入口、職員用休憩室、看護師仮眠室、職員用トイレのカラーコーディネートから壁紙やロールスクリーンの選定、壁面のアート制作まで、トータルコーディネートを手掛けました。1週間病院に籠って壁画を制作。プロジェクトのスタートから約1年を費やし、病棟に新たな命を吹き込みました。[アート制作/7月2日~8日]



竣工記念式典への出席

記念式典で感謝状を授受しました。医療関係者や行政関係者、マスコミが集まり、内覧会も行われました。[7月9日]



原田院長先生と



HOSPITAL
ART

クリスマスカードプロジェクト

オリジナルデザインのカードに手書きのメッセージを添えて、入院中の子どもたちに贈るプロジェクト。17年目となる2017年は全国33病院へ約3000枚のカードをお届けしました。

お届け先病院

北海道立子ども総合医療・療育センター
弘前大学医学部附属病院
国立病院機構岩手病院
国立病院機構宮城病院
宮城県立こども病院
仙台赤十字病院
山形大学医学部附属病院
福島県立医科大学附属病院
竹田総合病院
筑波大学附属病院
埼玉県済生会栗橋病院
国立病院機構埼玉病院
埼玉県立小児医療センター
千葉県こども病院
東京ベイ・浦安市川医療センター
順天堂大学医学部附属練馬病院
聖路加国際病院
東京大学医学部附属病院
東邦大学医療センター大森病院
新潟県立がんセンター新潟病院
長野県立こども病院
国立病院機構三重病院
国立病院機構鈴鹿病院
京都大学医学部附属病院
兵庫県立こども病院
和歌山県立医科大学附属病院
鳥取大学医学部附属病院
鳥取市立病院
国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター
熊本大学医学部附属病院
大分こども病院
鹿児島市立病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター



カード誕生のストーリー

カードにデザインした作品は、震災復興応援プロジェクト「ARTS for HOPE」の活動で、福島県立相馬支援学校、黒川保育園&りんどうヶ丘小学校（熊本県南小国町）の子どもたちと制作した作品です。



メッセージライティング参加者

参加者は年々大きな広がりを見せています。全国の個人の皆さんをはじめ、2017年は病院、学校、企業などが参加しました。

全国の皆さん 熊本大学医学部附属病院 長野県立こども病院 貝塚市ハート交流館 東京都立小平高等学校 東京都立町田総合高校
横須賀市立大楠中学校 仙台市荒町児童館 仙台市連坊小路マイスクール児童館 南相馬市上町児童クラブ 南相馬市橋本町児童クラブ
南相馬市東町児童クラブ 飯館村立草野・飯桶幼稚園
花王株式会社 コスモエネルギーホールディングス株式会社 シチズン時計株式会社 ジョーンズラングラサル株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン モルガン・スタンレー

コーポレートパートナー：花王株式会社 コスモエネルギーホールディングス株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン ジョーンズラングラサル株式会社



HOSPITAL
ART

クリスマスチャリティ

入院中の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈るプロジェクト。10年目となる2017年も、企業ボランティアや全国の皆さんからプレゼントが集まり、9病院へ500個を超えるプレゼントをお届けしました。



【お届け先病院】
 国立病院機構山形病院
 国立病院機構福島病院
 公立相馬総合病院
 国立国際医療研究センター
 東京女子医科大学八千代医療センター
 国立がん研究センター
 東京都立墨東病院
 あいち小児保健医療総合センター
 滋賀県立小児保健医療センター

コーポレートパートナー：サノフィ株式会社
 プレゼント協力：サノフィ株式会社 株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン 他全国の皆さん

BORDERLESS
ART

ワンダーアートスタジオ

15年前から取り組んできた〈障がい〉と〈アート〉の取り組みが、
ひとつのかたちになりました。

つどい

つくり

つながる



被災地支援の過程で、障がいのある人たちが集える居場所、交流できる場が強く求められていることが分かり、ボーダレスアトリエの構想をはじめました。アートを通じて緩やかに、だれもがフラットにつながる場所をつくりたい。2017年4月に満を持してオープンした『ワンダーアートスタジオ』。毎月開催しているアトリエでは、障がいの有無を超えて子どもたちが集い、感性の翼を広げています。

助成：赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト



「ともにつくり ともに生きる」

障がいとはつまり、個性なのではないだろうか・・・？
各地の重度心身障がいや精神障がいの病院、支援学校などで
長年、創作プログラムを続けるうち、そう確信するようになった。
ビジュアルアートに関しては、生まれた作品に障がいという
フィルターは必要なく、作品が持つ個性や魅力が全てに
思えた。見えない人が創った鳥の彫刻は意表をつく表現力
だったし、知的障がい児の描く人や動物は愛にあふれ、見る
人を幸せにする不思議な力を持っていた。

17年前に企画・オーガナイズした展覧会「アート・イン・
パラダイス」でも同様の思いを抱いた。自宅の庭いっぱい
に林立するとぼけたブリキアート、蜂蜜と泥で描かれたハエが
たかる絵、幻視体験から神父が創り始めた廃棄物の聖なる神
殿など、アメリカ全土から集めた障がい者などによる独自の
表現群は、強烈な個性のインパクトがあり、見るものの心を
ざわざわと刺激した。そこに至るともはや、障がいという特
性は影を潜めていた。彼らは誰に示唆されるでもなく、人の
評価を気にするでもなく、自分のパラダイスの中で、衝動的
に気の向くまま、祈りや願いや楽しみのため、また生きる証
として創りつづけていた。

それら経験を経て、この個性児たちの居場所を求められる
ようになり、仙台に障がいの有無や種類を超えたボーダレス
アートスタジオを開くことになった。そこ、Wonder Art Stu-
dioにはユニークな子どもたちが集まってくる。難聴、ろう
重複、ダウン症、自閉、多動、知的・身体・精神・聴覚・視
覚・発達障がいに健常児と、様々な個性があるのままにつど
い、自分らしく表現する場は予測不能な事態や新鮮な言動が
飛び交い、発見に満ちた刺激的なスタジオとなってきた。そ
れはとても自然で心地良く、実に楽しい。地球上に多種多様
な動植物が混在し共生しているように、人間社会も本来そ
うあるべきなのではないだろうか？

芸術を通してその大切なことを伝える藝大アーツ・スペ
シャル「障がいとアーツ」において、ともにつくってきた子
どもたちの作品を展覧させていただけることは何よりありが
たく幸せなことと思う。このことで子どもたちが胸を張り、
上を向いて生きる新たな一歩となることを心から願いたい。

〈『障がいとアーツ』展 カタログ寄稿より〉

国立病院機構のプログラム

重度心身障がいの患者さんが入院する国立病院機構宮城病院。
一年に一度、ご家族も一同に集まる〈秋まつり〉でスペシャル
プログラムを開催しました。今回で3度目のご協力。皆さんと
の再会を喜び、200名を超える参加者全員で共同作品を制作し
ました。
[9月18日/国立病院機構宮城病院]



難病患者等ボランティア講座での講演

NPO法人宮城県患者・家族団体連絡協議会主催（仙台市委託事業）の〈難病患者等ボランティア講座〉で、難病への理解を促す講演を
行いました。
[9月18日/仙台市シルバーセンター]

子どもたちの作品展

東京藝術大学で開催された『障がいとアーツ』展に、障がいのある子どもたちと制作した絵画作品や、病院で患者さんが制作した“ハッ
ピードール”が展覧されました。
[12月2日～3日/東京藝術大学]

ARTS for
HOPE

東北・熊本応援活動

東北・熊本の応援活動も7年目に入りました。2017年も各地から多くの要請をいただき、120日を超える現地活動を届けることが出来ました。仮設住宅、災害公営住宅、支援学校や児童クラブのほか、震災遺児をサポートする〈あしなが育英会〉との協働事業や、復興イベントなどを通して、子どもたちの成長を見守り、地域コミュニティの応援を続けています。

ARTS
for
HOPE



【主な活動先】
岩手県大船渡市、陸前高田市
宮城県石巻市、仙台市
福島県南相馬市、相馬市
熊本県熊本市、益城町、西原村



つくることは生きること展

2016年に岩手、宮城、福島、東京を巡回した『いま、ここで生きている』展の続編。関西や九州の来場者から「被災地の声を伝えて」という声が多く寄せられ、全国巡回しました。仮設住宅や災害公営住宅、復興イベントで生まれた“ハッピードール”（願いを込めたマスコット）1200点に、熊本の応援活動で生まれた作品やメッセージも加わりました。東北と広島、神戸、熊本を繋ぎ、互いにエールを送り合うことで、運命共同体である日本列島全てが繋がりを、みんなで前を向き、明日を生きていく力になれば。過酷な経験と深い悲しみを越え、一歩ずつ歩んできた人たちの生きた証とも言える作品に、明日への希望を託した展覧会となりました。

【広島展】1月24日～1月31日／旧日本銀行広島支店
【神戸展】2月24日～3月3日／神戸ハーバーランド umie
【熊本展】3月25日～3月31日／蔦屋書店熊本三年坂

助成：赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト 大東建託グループみらい基金 南相馬市子育て応援基金 こどもゆめ基金
赤い羽根共同募金 ボラサポ・九州
協賛：リオ ティントジャパン株式会社 シチズン時計株式会社 株式会社第一製版 小江戸大江戸トレニックワールド 株式会社ジェーシーピー
公益社団法人日本フィランソロピー協会 他個人寄付者の皆様

KIDS
WORKSHOP

子どものワークショップ

カナダのアーティスト・グループ「ママリアン・ダイビング・リフレックス」が世界 35 都市で行っている《子どもたちによるヘアカット Haircuts by Children》。日本での開催にあたり、高橋がプロジェクト・コーディネーターをつとめました。子どもたちがプロの美容師の指導で、ヘアカットの技術や接客方法を学び、その後、実際の美容室で大人の顧客に無料のヘアカット・サービス。発達に悩みをかかえる子どもたちのほか、一般の子どもたちが参加しました。

[開催日] 2月18日、19日、25日、26日
[会場] 東京ビューティーアート専門学校
[主催] アート&ソサイエティ研究センター
[共催] ワンダーアートプロダクション
[助成] アーツカウンシル東京
[後援] カナダ大使館
[協力] 東京未来大学子どもみらい園
(学校法人三幸学園)



メディア掲載

各紙で高橋の取り組みが紹介されました。



朝日新聞 (2017年3月14日付)



市民タイムス社
(2017年3月14日付)



朝日新聞 (2017年9月9日付)



Medical Communication
(日本ビジネス出版)

ホームページが
リニューアルしました!

ホスピタルアートプロデューサー・高橋雅子のホームページが出来ました。過去から現在に至るまでの活動を紹介しています。是非ご覧ください。

<https://www.masakotakahashi.website/>

日本心エコー図学会
ポスターデザイン

「日本心エコー図学会 第30回
学術集会」のポスターをデザイン
しました。



■ サポーター大募集

子どもの活動、医療施設・福祉施設における活動、東北・熊本応援活動はすべて非営利事業のため、皆さまのご支援が必要です。温かな応援を宜しくお願い致します。

《会員》

年会費：(個人) 5,000円 (18歳以下) 3,000円

※ご支援内容によりお振込先が異なります。

■ 子ども・医療施設・福祉施設における活動

Wonder Art Production みずほ銀行 五反田支店 (普) 2526733 ワンダーアートプロダクション

■ 東北・熊本応援活動

ARTS for HOPE 三菱東京UFJ銀行 成城支店 (普) 0086309 アーツフォーホープ

*会費をお振込みの際は、お手数ですが電話・FAX・メールで下記までお知らせ下さい。

*支援者の皆さまには活動毎の報告書をメールでお送りします。年末には記録集を贈呈します。

Wonder Art Production (高橋雅子事務所)

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-16-5-501

TEL : 03-6240-1525 FAX : 03-6240-1528 E-mail : wonderartproduction@gmail.com



Homepage facebook

<https://www.masakotakahashi.website/>